

GUARDIANWALL V7.1.02-4102 for Linux リリースノート

GUARDIANWALL V7.0 for Linux モデルから GUARDIANWALL V7.1 for Linux モデルにおいて、以下の機能追加および修正/変更しました。

1. 新機能、機能改善

(1) 管理-検査の連携バージョン導入

SUITE4.0 以前では、管理サーバーのバージョンと、検査サーバーのバージョンが異なる場合、“バージョンエラー”となり、管理・検査間の通信を不可としていました。

SUITE4.1 では、管理サーバーのバージョンとは別に、プロトコルバージョンを用意、評価する仕様に変更し、管理サーバーのバージョンが異なる場合でも、プロトコルバージョンが合致していれば、管理・検査間の通信を許容するようにしました。

(2) ログ収集処理の改善

検査サーバーから管理サーバーへのログの転送プロトコルを見直し、転送処理のパフォーマンスを改善しました。

(3) メールアーカイブ保存用ディスク管理方法の改善

複数台の検査サーバーからログ収集を行う場合、設定によってメールアーカイブデータを一括削除する問題を、メールアーカイブ保存用ディスクの管理方法の変更によって改善しました。

(4) 保存領域設定の検査機能

管理サーバー、検査サーバーの保存領域設定時に不必要な設定が行われないよう、設定内容についての整合性を確認する検査処理を追加しました。

(5) 閲覧・監査履歴、配送履歴の表示部の改善

保存メール、保留メール、またウェブアクセス詳細、ウェブメール本文の各表示画面における閲覧・監査履歴、配送履歴(保存メール)のデータ取得処理の改善を行い、表示処理のパフォーマンスを改善しました。

また、配送履歴の表示対象期間は、従来の無制限から 90 日分(デフォルト)にしました。

(6) リストアデータ閲覧時の操作ログ、配送ログの範囲拡張

リストアデータ閲覧([メール]リストアメール閲覧、[ウェブ]リストアログ閲覧、リストアサービス利用状況)画面において表示される操作(閲覧・監査)履歴、配送履歴にリストア操作ログ、リストア配送ログに記録された情報も表示できるようにしました。

(7) 各種 OSS のバージョンアップ

- ・PHP 4.4.7
- ・PostgreSQL 8.1.9
- ・OpenSSL 0.9.8e

(8) キーワード検索対象アプリケーションの拡充

メールのキーワード検索機能において検査可能なアプリケーションデータとして以下のファイルフォーマットに新規に対応しました。

- ・Microsoft Word 2007
- ・Microsoft Excel 2007
- ・Microsoft PowerPoint 2007
- ・JUSTSYSTEM 一太郎 2005/2006/2007
- ・PDF 1.7

※ PDF に関して従来は、Windows 版 Acrobat3/4/5/6 内に組み込まれている「PDFWriter」「Distiller」で出力されたもののみに対応していましたが今回その制限をなくしました。

(9) キーワード検索フローの改善

キーワード検索機能において、検査対象メールの Content-Type のメインパートが text である場合でも、filename 属性があればテキスト抽出処理を実施するようにフローを見直しました。アプリケーションファイルを正しく添付できない MUA による送信メールのキーワード検査洩れを防ぐための改善です。

2. 修正

(1) リストア DB ディレクトリの空白更新

[共通]-[管理サーバー管理]-[基本設定]-[管理サーバーパラメータ]で「リストア DB」ディレクトリを空白で更新した場合に、データベースのリストア用テーブルスペースが残る不具合を修正しました。

(2) ダウンロードしたメールが Outlook Express で文字化けする不具合修正

管理サーバーからダウンロードした保存メール、保留メールを、Outlook Express で開いた場合に、本文の内容によっては表示が化ける不具合を修正しました。

(3) グループ登録機能

グループ定義ファイルのアップロード機能において、一度に登録可能なグループ数が管理サーバーの一度にオープンできるファイル記述子の制限値に制限される問題を修正しました。

(4) [利用者管理] 検索条件グループ選択用のサブ画面のタイトル修正

情報管理者および部門情報管理者の編集画面にて、「メールオペレーション権限リスト」内の「検索条件グループ指定」にある[選択]ボタンを押下した時に表示される「グループの選択」サブ画面のタイトル表記の誤りを修正しました。

(5) GUARDIANWALL V5.3 以前の設定引継ぎ時の不具合修正

GUARDIANWALL V5.0 以前で、内部ドメイン名を複数設定してある場合のアップグレード処理の不具合を修正しました。

(6) パスワード文字列検査機能の不具合修正

[利用者管理]-[共通]-[セキュリティ]-[セキュリティ設定]の使用可能文字の記号欄に "-"(ハイフン)を使った場合に正しく検査機能が動かない不具合を修正しました。

(7) GUARDIANWALL の各種サイズ入力値の書式チェック

GUARDIANWALL の各種サイズ入力欄の入力検査ロジックの不具合を修正し、下記画面の各種サイズ入力欄で、制限なく入力可能なように修正しました。

- ・[メール]-[保存メール管理]-[メール閲覧]
- ・[メール]-[保存メール管理]-[リストアメール閲覧]

- ・[メール]-[ログ閲覧]-[ログ閲覧]-[統計情報]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[ログ閲覧]-[情報検査ログ]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[ログ閲覧]-[保留メール操作ログ]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[ログ閲覧]-[保存メール閲覧ログ]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[ログ閲覧]-[統計情報グラフ]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[リストアログ閲覧]-[統計情報]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[リストアログ閲覧]-[情報検査ログ]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[リストアログ閲覧]-[保留メール操作ログ]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[リストアログ閲覧]-[保存メール閲覧ログ]
- ・[メール]-[ログ閲覧]-[リストアログ閲覧]-[統計情報グラフ]
- ・[メール]-[システム管理]-[基本設定]-[拡張]-[最大メッセージ受信サイズ]

(8) 統計情報グラフの選択グループ表示

管理サーバー単体構成の場合、検索条件表示にグループ名が表示されない不具合を修正しました。

(9) 保留メール添付ファイルのダウンロードの不具合修正

Internet Explorer で保留メールの添付ファイルをダウンロードした場合に、直接アプリケーションで開けない不具合を修正しました。

(10) 保存メール閲覧複数タブ表示時の"詳細情報を表示"の不具合修正

[メール閲覧]-[リストアメール閲覧]画面において、検索結果を複数表示した状態で【詳細情報を表示】リンクを押しても、最後に開いた結果一覧(タブ)でしか正常に動作しない不具合を修正しました。

(11) 操作ログ統計レポートの BASE64 エンコード処理不具合修正

操作ログ統計レポート、添付ファイルの BASE64 エンコード処理の不具合を修正しました。

(12) 設定リストアでの検査サーバーバージョンチェックの不具合

下位バージョン設定ファイルを設定リストアできない不具合を修正しました。

(13) GUARDIANWALL アーカイブ検証コマンドのメモリリーク

アーカイブ検証時に利用するコマンド mw_archive に存在したメモリリークを修正しました。

(14) 管理サーバーのアンインストール時の不要領域削除

管理サーバーのアンインストール時の動作で、パッケージ削除後にデータベースファイルを削除する際、リストデータベースディレクトリが設定されている時はそのディレクトリ下のファイルやディレクトリをすべて削除するように修正しました。

(15) 検査サーバダウン時の保留メール機能

複数の検査サーバーが登録されている場合に、1 台でも登録されている検査サーバーとの通信に障害が発生すると、他の検査サーバーの保留メールも一覧表示されない不具合を修正しました。

GUARDIANWALL V7.1.00-4100 for Linux から GUARDIANWALL V7.1.02-4102 for Linux において、以下の機能追加および修正変更がなされました。

1. 修正

(1) リストアカレンダーにおいてリストアデータが有り则表示されない不具合

管理画面において、[共通] - [データ管理] - [リストア] - [ディスク] の「リストアカレンダー」表示時、リストアディレクトリ内に保存メールログと情報検査ログだけが存在する場合、リストアデータが有り则表示されない不具合があり、これを修正致しました。

(2) メール監査統計情報のグループ管理条件が正しく判定されない不具合

メール監査統計の管理者ごとのグループ管理判定で、発信者アドレスの判定方法を変更するオプション”FromFilterSelect_Log”を、デフォルト(=ヘッダー)からエンベロープに変更してもヘッダーしか対象としない不具合があり、これを修正致しました。

(3) sweep 処理時に mw_mss の起動が失敗する不具合

mw_mss から定期的に起動する sweep 処理の子プロセスが動作中に、mw_mss の再起動を行うと port がバインドできず起動が失敗する不具合があり、これを修正致しました。

(4) [保留メール管理] の送信 BOX や削除 BOX の保存情報がクリアされる不具合

管理対象グループを設定されている管理者が、保留メール管理画面を開いた際、管理対象外のメールが「送信 BOX」や「削除 BOX」内にあると、その保存情報がクリアされる不具合があり、これを修正致しました

(5) 操作ログのバックアップ処理における不具合

23:59:59.999 ~ 23:59:59.999999 の間に記録された操作ログがバックアップされず、その時間に記録された操作ログのバックアップデータがリストア時に正しく閲覧できない不具合があり、これを修正致しました。

(6) guts_httpc のタイムアウト時にハングアップする可能性がある不具合

guts_httpc のタイムアウト時にハングアップする可能性がある不具合があり、これを修正致しました。

(7) テープバックアップ時、テープが元の位置に戻らない不具合

テープへバックアップを行う際、バックアップ開始位置がテープの先頭でなく途中であった場合、処理終了後、元の位置に巻き戻らない不具合があり、これを修正致しました。

2. システム要件

GUARDIANSUITE V4.1(GUARDIANWALL V7.1)を利用するには、以下の要件を満たしたハードウェア／ソフトウェアが必要です。

【Linux 版サーバーホスト条件】

対応バージョン : RedHat Enterprise Linux AS/ES V3、4、5

(動作環境に libstdc++.so.5 が必要)

CPU : 上記 Linux が稼働する Pentium4 相当以上の CPU

メモリ : 1GB 以上推奨

※全文検索機能使用時(Advanced モデル)は、導入先サーバは 2GB 以上必須

【管理用クライアントホスト条件】

対応バージョン : Windows 2000/XP/Vista

ウェブブラウザ : Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 sp2,6.0 sp3

Microsoft Internet Explorer バージョン 7.0 sp1

その他条件 : ブラウザーの JavaScript が有効であること

3. 変更

(1) 新社名対応

開発元(旧キヤノンシステムソリューションズ)の社名変更により、製品中(マニュアル含む)の社名を、新社名「キヤノン IT ソリューションズ株式会社」と修正致しました。

以上